

"本書はその(日本古美術保護活動の)最初期の現場でのいわばフェノロサの肉声、彼が何を考えていたのかをリアルに伝えている。ここから読み取れる情報は甚だ多く、作品情報から鑑定方法、アドバイザー、当時の日本・中国美術の知識など、140年前からの同時中継を聞いているようでワクワクさせられる。様々な新知見が切り出されることを期待したい。" 佐藤道信(東京芸術大学教授)

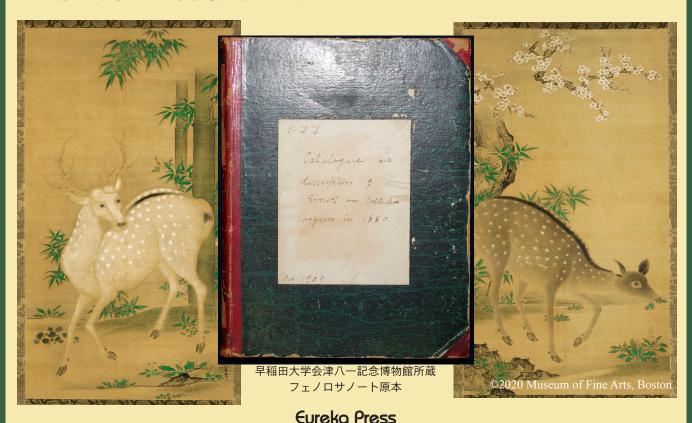
フェノロサ手稿

「日本絵画蒐集作品解説付総目録」

復刻・翻刻・邦訳集成 全1巻

Complete Catalogue of Collection of Specimens of Japanese Art including Notes and Commentaries and Reference to the Other Note Books belonging to the Collector, by Ernest Francisco Fenollosa

山口静一(埼玉大学名誉教授)編・著



フェノロサ手稿 「日本絵画蒐集作品解説付総目録」

復刻・翻刻・邦訳集成 全 1 巻

Complete Catalogue of Collection of Specimens of Japanese Art including Notes and Commentaries and Reference to the Other Note Books belonging to the Collector, by Ernest Francisco Fenollosa

(Series: Collected Works of Japanologists)

山口静一(埼玉大学名誉教授)編・著

2020年7月刊行 B5 判・約370頁 (カラー図版8頁) 本体価¥38,000 (+税) ISBN: 978-4-86166-212-6

ボストン出張中の故秋山光夫氏 (当時東京博物館鑑査官)が 1930年に現地の古書店で発見、購入した、アーネスト・フェノロサの自筆ノート (現在早稲田大学会津八一記念博物館所蔵)の初の公刊です。

お雇い外国人教師として来日後日本美術蒐集を開始したフェノロサが、入手した日本絵画の作品名、作者や流派などの基本情報を記し目録化した自筆ノートで、作品の図様や特色についての自らの解説や、助言を得た日本人美術専門家(鑑識家や画家)の意見が加えられています。ノート末にはフェノロサ自身が作成した索引も付されています。記載されている日本絵画は、米国帰国後、初代日本部部長となるボストン美術館に寄託され、現在同館の日本絵画コレクションの核の一つとなっています。フェノロサの日本での美術品蒐集の履歴や日本美術への理解を研究する資料としてだけでなく、明治期の専門家による日本美術の評価、そして日本美術の海外への流出史などを研究する上で極めて貴重ですが、現在まで公刊されることはなく、その内容は一部が紹介されるのみにとどまっていました。

本出版では、手稿ノート全ページの影印復刻に英文全文を翻刻、さらに編者による邦訳、解説および註解を加えます。また、目録中の各作品とボストン美術館の収蔵番号との対照表を作成し、現在同美術館のウェブサイトで公開されている美術品へのアクセスの利便性を図ります。

CONTENTS

Plates (口絵 ボストン美術館所蔵品カラー図版 10点)

Introduction by Seiichi Yamaguchi(英文解説)

Part 1: Facsimile Reprint of Complete Catalogue of Collection of Specimens of Japanese Art including Notes and Commentaries and Reference to the Other Note Books belonging to the Collector Ernest Francisco Fenollosa (フェノロサノート手稿復刻)

Part 2-1: Transcription of the 'Catalogue' including Index by Ernest Francisco Fenollosa (手稿英文翻刻)

Part 2-2: Editor's Notes & Glossary (英文註)

Part 3-1: Introduction in Japanese by Seiichi Yamaguchi / 訳者序文

Part 3-2: Translation of the 'Catalogue' in Japanese / 日本語絵画蒐集作解説付目録

Part 3-3: Editor's Notes in Japanese / 作者および引用人物等註解

Part 3-4: Editor's Commentaries on the Plates in the Frontispiece in Japanese / 口絵解説

Part 3-4: List of Access Number of Museum of Fine Arts, Boston / ボストン美術館所蔵品アクセス番号対照表



1. A small figure-painting of the Bud-dhist God, Tiso.

This is in the finest style of very old Japanese Brid othist painting. It is said to be by Kose no Kanamoka, about 1000 years old. But Mr. Ninagana, Kano Leitoku, and Setsuan say it is not Kanamoka himself, for it has not ginter his boldness of tonoto, but is by his son or grand son, say about 900 yrs. old. The secret of applying gold so as to be permanent

^S1. A small figure-painting of the Buddhist Gods, Jiso.

This is in the finest style of very old Japanese Buddhist painting. It is said to be by Kose no Kanawoka, about 1000 years old. But Mr. Ninagawa, Kano Yeitoku, and Setsuan say it is not Kanawoka himself, for it has not quite his boldness of touch, but is by his son or grandson, say about 900 years old. The secret of applying gold so as to be permanent was lost soon after this period. On the other hand Mr. Shimoda and Mr. ____ declare it to be a genuine Kanawoka. All testimony about such old paintings is doubtful. The beauty of line and color far surpasses that of later Buddhist works. But in boldness of line and grandeur of color it is inferior to some of the pictures said to be by Kanawoka now kept in Kioto. It has been finally determined by the present Sumiyoshi of Tokio, to be the work of Kose no Genkei. Bought from Akamatsu. (MFA:11.4080)

Sent fall of 1880, from here.

^S2. 1-6. Bird and flower pieces painted by Wunkin in 1877 or 78. These may be considered as one work, or as four different works, namely, 1, 2, 3-4, 5-6. For convenience they are classed as one.

- 1. Two wild ducks flying up from the reeds. This is delicate in feeling and color, but not strong in any respect.
- 2. The peacocks on the trunk of bending pine. This is fine chiefly in composition.
- 3. A pheasant among the peach blossoms. This is very rich in color, but not so pure in feeling.
- 4. Quail and bush with yellow flowers. This is in the true noble Japanese feeling, and from the native point of view, as in truth, the best of the six pictures.
- 5. Two herons on a rock and pine tree. The purity of the grey tones is excellent. This is the next to the best of the six.

作品1 人物図、小品。仏教の神、地蔵。

みごとなスタイルを持つかなり古い日本仏画。巨勢金岡筆で千年ほど前のものと言われるが、蜷川氏、狩野永悳、雪庵の説によればいささか独特の大胆なタッチに欠けるところがあり、金岡自身の手になるというよりむしろその息子ないし孫の作品で九百年ほど前のものという。金泥を塗布して耐久性を持たせる秘伝はこの時代を境にやがて消滅した。一方シモダ氏や逸名氏は金岡筆と断定。このような古い絵画になるといずれの証言も信を置けない。線と色彩の優美さでは後代の仏画をはるかに凌ぐものがあるものの、線の大胆さや色彩の壮麗さでは、現在京都にあり金岡の真筆とされる数点に較べて見劣りがする。結局のところ東京在住の現存画家住吉の鑑定により巨勢源慶の作とされる。赤松より購入。以下1880年秋送付された分。(MFA:11.4080)

作品 2 (1-6) 花鳥図、1877 年か 78 年。雲錦筆。

六幅もの、あるいは四幅(一、二、三・四、五・六)かとも考えられるが、便宜上六幅ものとして扱っておく。

第一図。葦原から飛び立つ野鴨二羽。情調・色彩とも繊細だが全体として強さに 欠ける。

第二図。松の曲がった幹にとまる孔雀二羽。美しさは主として構図にある。

第三図。桃の花に雉一羽。きわめて豊かな色彩を持つが、それほど純粋な情調が 伝わってこない。

第四図。黄色の花をつける草むらの中の鶉。真に高雅な日本的情調を持ち、日本 人の目から見て、また事実その通りだが、六幅中最高の作。

第五図。岩上の青鷺二羽と松。純粋なグレーの色調において卓越し、六幅中第二 位の作。

第六図。紅梅の枝に青鷺二羽。雲錦が大晦日の夜に見た夢の図という。幸福の象 徴という三題を描くが、迫力に欠ける。

推薦のことば

佐藤道信 (東京芸術大学教授)

待望の書がついに刊行された。海外に数 ある日本美術コレクションの中でも、アー ネスト・フェノロサが収集したボストン美 術館の日本美術品は、質量ともに群を抜い ている。東京大学のお雇い教師として来日 したフェノロサが、ジャポニスム最盛期の 1880年代、日本で自ら鑑定法を学び、現地 日本で直接購入した作品群だからである。 本書はその自筆の購入記録 (「掛物」) であ り、全頁の影印と、フェノロサ研究の第一 人者山口静一氏による翻刻と翻訳、解説か らなる。購入作品一点一点に、真贋と作品 評を記したフェノロサの几帳面さにも驚か されるが、同書が1930年ボストンの古書 店で、当時東京帝室博物館の館員だった美 術史学者秋山光夫氏によって発見、購入さ れたという運命的な出会いも伝説化されて いた。



フェノロサ英文著作集

【復刻集成】全3巻+別冊日本語解説

Ernest Francisco Fenollosa: Published Writings in English

【編集・解説】山口靜一(埼玉大学名誉教授)

B5 判・総約 1,270 頁 本体セット価 ¥78,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-112-9

「日本美術の恩人」と称されるフェノロサの英文著作の初の集成です。

没後 100 年を期に編集されたこの著作集は、フェノロサが自らの名前で活字化していたほぼすべて(ペーパーバック等で刊行されている詩集 East and West および遺著 Epochs of Chinese and Japanese Art を除く)の文献を復刻にて収録しています。ハーバード大学卒業文集に発表した長詩や、東京大学で出題した試験問題から、日本の英字新聞や雑誌に投稿されたゴンスやアンダーソンの日本美術書への書評や日本文化論、美術展カタログへの解説、シカゴ万国博覧会の教育会議での発表、帰国後アメリカの雑誌に発表された美術論や美術教育論など計 51 点の文献を全 3 巻に収めています。そのほとんどが初出後初めて再刊されるものです。編者による別冊解説、そして巻末には編者がフェノロサの業績と参考事項を詳説する年表と、夫人メアリーの浮世絵に関する論文 2 点を付録しています。



ジョサイア・コンドル英文著作および関連資料集成

【復刻集成版】全4巻+別冊日本語解説

Collected English Writings of Josiah Conder

【編集・解説】山口静一(埼玉大学名誉教授)【解説】頴原澄子(千葉大学准教授)

B5 & B4 判・総約 1250 頁 限定 80 部出版

本体セット価 148,000 円+税 ISBN: 978-4-86166-211-9

新刊

- ●鹿鳴館、三菱一号館、ニコライ堂などを設計し日本で近代建築学の礎を築いたコンドルの英文著作および関連文献計 65 点を図版(一部カラー) 含め復刻集成。
- ●数多くの日本建築論をはじめ、日本の服飾、生け花、芸術論など国内外の英文紙・誌に発表した記事・論文を網羅。濃尾地震後の建築物被害に関する報告、クリストファー・ドレッサーや F・T・ビゴットとの芸術論争、国内外で報じられた死亡記事やコレクションの売り立て目録など関連資料も多数収録。
- ●日本画の師河鍋暁斎を海外に知らしめた大著 Paintings and Studies by Kawanabe Kyosai およびコンドル博士記念表彰会が編集出版した写真・図版集は日光、京都訪問時のスケッチなど、カラー図版含め原寸復刻。
- ●国際日本学史研究にも必携の資料集。

■各巻内容■

第1巻 建築と日本庭園/第2巻日本文化と芸術/第3巻 河鍋暁斎論/ 第4巻 コンドル博士記念表彰会編『コンドル博士遺作集』など。





取り扱い書店:

発行元: **Eureka Press**(ユーリカ・プレス) **c/o Edition Synapse** (エディション・シナプス) 〒 100-0014 東京都千代田区永田町 2-17-5-201